

大会告示号

トーエネック 労働組合 長野地本
委員長 山口貴義
第61回長野地本定期大会を下記の
通り告示します
日時 2020年6月20日 土曜日
場所 非招集の書面開催



発行 長野地本 組織局
第 196号
発行責任者 河崎良浩
編集責任者 斉藤高尚

第61回長野地本定期大会 2020年6月20日（土） 非招集の書面開催

二〇二〇年度
活動方針

【社会経済の動向】

日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。四月に全国に出された、緊急事態宣言は五月十四日に三十九県で解除されたが、感染症の影響により極めて厳しい状況が続くと見込まれている。

【当社をめぐる動向】

新型コロナウイルスの感染拡大が大変深刻であり、工事の進捗や受注状況が悪化する可能性が高く、先行きが見通せない状況である。新型コロナウイルスの感染拡大の影響は長期化が予想され、大変厳しい状況にあるが、全社一丸となつてこの困難な時期を乗り越えるよう取り組んでいる。こうした環境下ではあるが中期経営計画二〇二二（二〇二〇年度～二〇二二年度）を策定し、人に関わる投資を積極的にを行うことで、当社の人材を質・量ともに充実させ、生活と社会のインフラを支えるプロ技術者集団として確固たるものとする。さらに安全風土の確立、働き方改革の推進、技術力の強化などに取り組みむことにより、高品質施工でお客さまから選ばれる企業を目指し日夜懸命に努力を続けている。

【具体的内容】

様々な施策が展開されている中で、環境がどのように変化しようとも組合員相互の信頼と連帯のもと、民主的労働運動を基調に「職場が原点」を常に意識し、労働組合としてチェック機能と労使協議の充実に努めて課題解決に取り組みます。組合員一人ひとりの創意工夫と英知を集結し、組織の発展・強化に結びつける活動を組合員の理解と協力を得ながら諸活動を展開していきます。

二〇二〇年度
このような活動を
展開します。

【組織局】

- ① 職場とのコミュニケーション活動を充実させます。
- ② 各支部・分会と連携強化をはかり円滑で効率的な組織運営に努めます。
- ③ 青年委員会活動の充実のため意見助言を行います。
- ④ 連合・電力総連・全電工労働の活動には本部と連携して参加します。
- ⑤ 地本教育計画に基づき効果的な教育・研修活動を推進します。
- ⑥ 迅速かつ的確な情報・宣伝活動に努めます。
- ⑦ 本部、関連諸団体主催の講演会・研修会に参加します。
- ⑧ 社会の一員として社会貢献活動に取り組めます。
- ⑨ トーエネック労働生活向上委員会と連携を図りながら各級選挙に対応します。

【労働政策局】

- ① 災害のない職場を目指し、安全意識の高揚と諸施策の推進に取り組めます。
- ② 疾病予防とメンタルヘルスを含めた健康づくりに取り組めます。
- ③ 職場の問題を吸い上げ、快適な職場環境作りに取り組みます。
- ④ 運営協議会・安全衛生委員会などで積極的に意見・提言を行います。
- ⑤ ワークライフバランスの充実に向け取り組みます。
- ⑥ 二〇二一年労働協改定交渉に向け本部と連携を図りながら取り組みます。
- ⑦ 事業場運営協議会・安全衛生委員会への助言・フォローを行います。

【財政局】

- ① 取り巻く環境を踏まえ効率的な財政運営に努めます。
- ② 支部・分会の財政運営について指導・助言していきます。
- ③ 各級組織機構との連携強化のもと円滑で効果的な運営に努めます。

【共済会】

- ① 本部共済会と連携をとり各種事業の利用PR・世話役活動を行います。
- ② 中部電力生活協同組合の利用拡大と迅速な情報提供を図り、組合員とその家族のライフサイクルを支援する活動を展開します。
- ③ 長野地本共済会の健全運営と充実に努めます。
- ④ ろうきん・コープ共済（全労済）の取り組みを強化します。

議事

1. 2019年度活動経過報告
2. 2019年度会計報告
3. 2020年度活動方針（案）
4. 2020年度予算（案）
5. 2020年度スローガン（案）

《 絆を強く、未来に向け、
安心出来る職場を目指そう。 》

支部・分会大会日程

支店支部 六月	長野支部 六月	篠ノ井支部 六月	中野分会 六月	上田支部 六月	佐久支部 六月	松本支部 六月	安曇野支部 六月	大町分会 六月	木曾福島分会 六月	諏訪支部 六月	飯田支部 六月	伊那支部 六月
十日（木） 十七時三十分から	十二日（金） 十七時三十分から	十二日（金） 十七時三十分から	十二日（金） 十七時三十分から	五日（金） 十七時三十分から	十二日（金） 十七時三十分から	八日（月） 十七時三十分から	十二日（金） 十七時三十分から	十二日（金） 十七時三十分から	五日（金） 十七時三十分から	十日（水） 十七時三十分から	五日（金） 十七時三十分から	十日（水） 十七時三十分から

掲示期間：2020.6.1～2020.6.20